



ゆきづまる人工島事業 凍結し市民参加で見直せ



宮本市議が追及

10月12日、福岡市議会決算特別委員会の総会質疑の初日、日本共産党の宮本秀国市議が人工島事業の問題などで高島市長を追及しました。



10月12日市議会決算特で
質疑に立つ宮本市議



まちづくりエリアでは、積水ハウスなどが「住宅在庫があるから」といって、9月末決済ができず、土地購入を延期したことがわかりました。在庫は118戸も。
「住宅計画が破綻しているのではないか」と宮本市議が追及すると、市は「大変厳しい状況」と言わざるをえませんでした。

住宅売れ残り、計画ゆきづまる

まちづくりエリア

市長は人工島の活用を話し合うフォーラムをつくりましたが、「大型コンベンションをつくれ」などの身勝手な要望が続出。無駄なハコモノづくりについて、すでに地元財界と市長との間で話ができていないのではないかと宮本市議が尋ねると、市長は「そんな話をした覚えはない」と否定しました。

人工島のみなとづくりエリアの土地がほとんど売れず、事業は破綻状態です。
宮本市議は、同エリアについて港湾業界にトップセールス（市のトップである市長自らが売り込みに動くこと）をしたのかと聞くと、一度もしていないことが明らかに。需要もなく、事業として破綻しており「自信がないからではないか」と質問すると市長は「そういうわけではない」と言い訳しました。

みなとづくりエリア

売る自信ない市長 売り込みにも行けず…

与党議員からも凍結を求める声まで出ていると紹介し、事業の中止を求めましたが、市長は「港湾機能を強化する」と推進にしがみつきました。



いま事業をやめれば…

約110億円の損失ですみます。もし埋立をつづければ512億円かかり、しかも、売れなければ812億円の大穴が空き、税金で埋めるハメに…。



質問すぽっと

10月の市議会の決算特別委員会での日本共産党の質問をお知らせします。

重度心身障害者 福祉手当なくすな

市の事業仕分けで見直しとされた重度心身障害者福祉手当について、熊谷敦子市議は、市側が障害者に送ったアンケートの選択肢が手当の廃止を迫る恣意的なものになっていると追及。

高島市長はアンケートについて「ていねいにやってる」と驚くべき認識を示すとともに、存続の要求に対しても「審議会の答申をふまえて検討する」と答えるのみでした。

保育園用地の 有償化やめよ

宮本秀国市議は、今無償で貸している認可保育園の市有地を有償貸与にする計画をやめるよう求めました。

また、宮本市議はスポーツ基本法の基本理念を示し、身近なスポーツ施設を増やす予算を組むよう要求しました。

六本松九大跡地 住民の声をきけ

星野美恵子市議は、九大六本松跡地の利用について、90メートルもの高層ビルの建設をやめることや、ホールをそなえた少年科学文化会館の移転をおこなうよう求めました。



宮本 秀国
市議団団長（南区）



星野 美恵子
市議団副団長（中央区）



中山 いくみ
市議団幹事長（早良区）



熊谷 敦子
市議会議員（西区）



綿貫 英彦
市議会議員（東区）

日本共産党
福岡市議団

生活・くらしの問題
お気軽にご相談ください
☎711-4734 FAX741-4627
メール: info@jcp-fukuoka.jp

高齢者の孤独死は年200人 孤立化なくす責任ある対策を



10月13日市議会決算特で質疑に立つ熊谷市議

日本共産党

福岡市議団

日本共産党の熊谷あつ子市議は、10月13日、市議会決算特別委員会総会で質疑を行い、年2百人もの孤独死が起きている問題を取りあげ、高齢者の孤立化を防ぐ4つの提案をしました。

① 民生委員の負担軽減などを

民生委員は高齢者の実情をつかみ、支援につなげる大事な役目。ところが過重負担になっていくとの声が現場から…。たとえば「すこやか赤ちゃん訪問事業」。赤ちゃんがいる家庭を訪問し、相談や情報提供をする重要な役割。熊谷市議が負担軽減や増員などを求めると、市も「負担軽減につとめる」と答えました。

② 低所得者も介護施設に入れるように



高齢者の生活を地域で支える小規模多機能施設を生かす。市議が市の認識をただした。市は「負担が重いとしても、食費や宿泊費が負担が重くて実際は利用できない問題について、熊谷市議が市の補助を求めると、「必要な措置を講じると、必要国に要望する」と答弁しました。

③ いきいきセンターの増員・増設を

④ 敬老無料パス復活を

この他、熊谷市議は、高齢者の孤立をふせぐため、地域の高齢者の相談にのる「地域包括支援センター(いきいきセンター)」の増員や増設をはかることや、高齢者の社会参加をうながしてきた敬老無料パスの復活を提案しました。

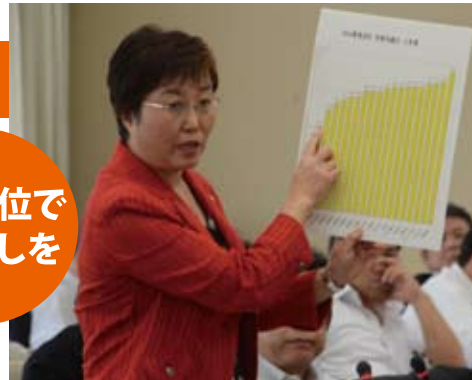
市立幼稚園にエアコンを

熊谷市議は市立幼稚園で夏は35度から38度にもなり、暑さで倒れた園児を園長室のソファで寝かせている実態を追及。6600万円で全市立園にエアコンを入れられるので設置すべきと質問しました。

市財政を苦しめる元凶は人件費ではない

人工島事業こそ財政難の原因 地元経済にも役立っていない

市民本位で
立て直しを



10月25日市議会決算特で質疑を行う星野市議

星野市議が追及

日本共産党の星野美恵子市議は、10月25日、福岡市議会の2010年度決算特別委員会の総括質疑に立ち、市財政のあり方などについて質しました。

福岡市の人件費は全国最低

星野市議は、福岡市は市民1万人あたりの職員数が63人、財政に占める人件費の比率が10・2%と、いずれも政令市の中で最低クラスであること

市財政圧迫する人工島事業

他方で、財政全体に占める借金返済の割合である公債費比率が、2010年度決算では14・7%と政令市で5番目に高く、多くは人工島などのムダな開発によるものだと指摘しました。

地場企業に仕事が回らない人工島の埋立事業



80.8%

地場でない企業の受注

19.2%

地場企業の受注